第9回「住まい・まち学習」教育実践研修会

京町家VR体験教材の紹介



京都市小学校家庭科教育研究会 岸田蘭子

2022.3.27 オンライン(ZOOM) 開催

家庭科における住育

主体的・対話的で深い学びへ

健康・安全・快適

生活文化の継承

科学性

通風•換気•遮光 断熱•採光

京町家(地域の資源)



暮らし方

季節感•感覚 人間関係

知識·技能



思考・判断・表現力

自然との関わり方

持続可能な社会の 構築 知恵や工夫

協力・協働

社会に開かれた教育課程

カリキュラム・マネジメント

学校現場 研究者 行政(教育委員会・住宅政策・景観保全) NPO 民間

2020年度

京都市全域の学校に取組を広げる

・「京町家に学ぶ住教育」指導ガイドの作成 (住総研すまい・まち学習研究助成)

2021年度



・デジタルコンテンツ「京町家VR体験システム」 の開発 本格実施

> (博報教育財団児童教育実践研究助成) 授業実践による効果検証

学校現場(研究会)+NPO+ 民間→ 行政(教育委員会·住宅政策·景観保全)

初期画面



移動方法



説明パネル画面



説明パネル拡大表示



試行実施(2020)の課題からの改善点(2021)

<改善点>

- ・通信環境とコンテンツの構造改善
- ・夏と冬の2つの季節のバージョンでの撮影

(いつも行き来して比較できる)

- ・生活知にとどまらず科学的な知識理解につなげるための工夫 (通風の仕組み・採光や保温のしくみを動画で解説)
- •中学校での学習内容も付加する

(収納や安全などの住まいの機能の解説) 指導ガイドも改訂



京町家VR体験を使った授業(夏のくらし)





個に合ったペースで見たいところ をじっくり繰り返し見ることができる

京町家VR体験を使った授業(夏のくらし)



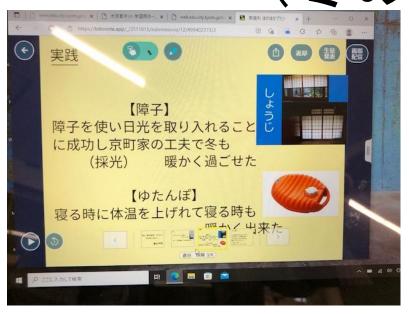


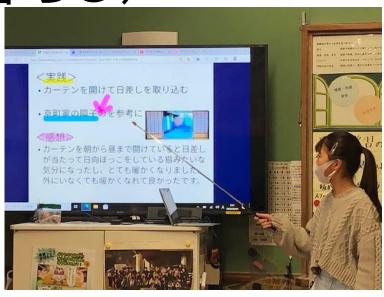
模型や実験で補足しながら 科学的理解を促す



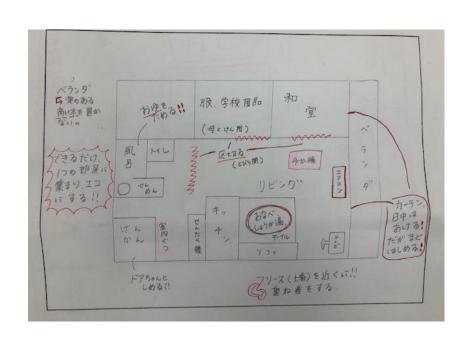


タブレット端末で マイほかほかプランを紹介し合う





スクリーンショットで写真や解説を切り取り取って、発表シート作成





家庭での実践への計画をワークシート(手書き)からロイロノートで編集する形へ





庭の景色も暮らしの一部として楽しむ たとえば床の間をヒントに季節感を大事に

<振り返り>

京町家の工夫を参考にして、今の生活でも工夫できることが結構あることに気付いた。

京町家のことが知れてよかった。大事に受け継いでいきたいと思った。

自然を取り入れて住まい方を工夫すれば、エネルギーを節約したり、環境にもやさしい暮らしができることに気付いた。

京町家VR体験教材による授業実践の検証

成果

- ■限られた授業時間の中で、VRとはいえ、実体験に近い形で、「京町家」という教育材に出会わせることができた。
- ・VRのよさを生かして一人一台端末で、個の興味関心に合わせて、 見たいところをじっくり何度も見ることで、主体的に学べた。
- ・共通の教材を扱うことで、具体の根拠をもって課題解決のプロセスにそって家庭実践に生かすことができる。
- ・京町家を見る機会が多い地域の学校は、見学の動機付けとなり意欲的に見学のめあてを持つことができた。
- ・京町家を見る機会がない地域の学校にとっても、京都の文化的な 資源でもある京町家に出会わすことによって地域に合った住まい方 や暮らし方に目を向ける契機となった。

ご清聴ありがとうございました

